

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272100637		
法人名	社会福祉法人はくしん会		
事業所名	グループホームトント園		
所在地 (電話番号)	〒038-2201 青森県西津軽郡深浦町沢辺字吉花67-2 (電話) 0173-77-3848		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 5日	評価確定日	平成 19年 12月 17日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 冬季13,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
または1日当たり		1,000円	

(4) 利用者の概要(8月 27日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	5 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 91 歳	最低	77 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	村山医院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは深浦町の高台にあり、広大な日本海を眺望することができ景観が良い。職員、利用者とも、ホーム近隣の方が殆どであり、地域住民の訪問や地域行事の参加などの交流が多く地域へ溶け込んでいる。「正しい心、優しい笑顔、言葉を掛ける」という理念をもとに、管理者、職員はその実現に意識統一がなされ、日々の業務において熱心に取り組んでいる。母体施設との連携も円滑であり、協力体制が確立されているため、入居者及び職員の安心感が得られている。居室には持ち込み品も多く、個々に安心できる過ごしやすい空間に配慮されており、共用空間においても飾りやレイアウトに工夫が見られ居心地が良いホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>月に1回、定期的な会議を開催し、個々の状態や業務についての話し合いが行われている。また、会議の時間を利用してミニ研修会を行う等、サービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。ホームの広報においては同法人の「生きがい活動」での配布等、検討中である。今後は地域福祉の拠点として誰でも気軽に相談できる、また誰でも相談に応える(答える)ことが出来る体制への取り組みが期待される。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員会議及び日常のミーティング等において、自己評価について検討を実施。評価項目に関しては内容について出来ていること、出来ていないこと、またしなければならないことを明確にしている。管理者は法人とも協力しながら不備な箇所、不明な箇所について職員とともに改善に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者及び家族からの要望等を傾聴しながら、運営推進会議等において、事業所に対する課題を職員全員で取り組んでいる。しかし、都市部と較べて地域での人間関係が深いという地域的な事情があるにせよ行政機関との連携を密にしその情報等を生かしサービスの向上に努めて欲しい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>地域に住むご家族とは無論、遠方に離れている家族に対しても利用者個々の便りを作成し状況報告を行っている。その中で、利用者及びご家族の意見、要望、苦情等への対応に取り組んでいる。また、職員会議や日常の中でのミーティングを通し、運営方法やサービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の祭り等に参加しながら、法人の行事にも積極的に参加している。また外出等の利用者の急な申し出に対してもすぐに対応し利用者本意のサービスが提供されている。利用者が地域の中で暮らす、生活することを何よりも優先している。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「正しい心・やさしい笑顔・言葉をかける」事を独自の理念として利用者が地域住民の一員としての暮らしの継続が出来るものとして作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的にミーティング等を活用しながら理念の理解が出来る取り組みを行っている。また、利用者支援の中でも理念が自然と理解できるように工夫されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の祭り等に参加しながら、老人ホームの行事にも参加している。利用者の社会性が保たれるように外出等も利用者の希望、要望に沿った形で行われている。地域との人間関係が構築されており広報誌等の回覧は地域特性のためあまり必要としない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価での助言を元に少しずつ改善に取り組んでいる。また、外部評価の意味・意義を管理者が職員と共に考え、より良いものにしようと取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議での議題の伝達はもとより、自分達は今後どのようにして利用者に対しての支援等を行っていくのかと話し合う機会を適時とっている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者とは相互の情報交換を行っているとの事だが、十分とはいえない。</p>		<p>行政機関を通し、地域内の情報ばかりではなく全国的な情報交換や、また情報発信が行われることが望ましい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度は知っているが、内容については知識不足との認識である。</p>		<p>事例がないという地域の特殊性を理由とするのではなく、制度の概要をはじめ職員が説明できる体制が望ましい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>常に虐待防止に努めている。さらに、研修を通じ関連法案の理解にも努めて欲しい。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、事業所のケアに関する考え方や取り組み、退所を含めた事業所の対応可能なことについて説明を行っている。また、契約後も面会時等に分からないことがあればその都度説明をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>近くに住む家族には面会時にその都度口頭で報告すると共に、遠方に住む家族には定期的に個人便りを作成し状況を報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族には出来るだけ話をする時間を作るようにし、何でも話せる雰囲気作りに努めている。また、意見箱を設置し家族等の意見を反映させる取り組みをしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>引継ぎ期間内に利用者及び新しい職員がお互いを少しでも知り合うことが出来るように最善の努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が年1回以上は研修に参加できるように配慮している。また、法人内研修にも参加している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区協会に加盟しているが、地域的な理由により参加するには至ってない。		地区の研修会等により、他事業所との相互研修会や事例検討を通じ、法人及び事業所外の人材の意見や経験をケアに生かす様に努めて欲しい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	地域的に、利用者と職員が利用前から知っているケースが多く、スムーズにサービスの利用が行われている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の「出来ること、出来ないこと」を把握し、お互いが協働しながら生活し、支えあっている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の希望・意向の把握に努め、家族と共に検討するなど家族の協力を得ながら支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者および家族の意向を含め、職員との意見交換を参考にしながら利用者一人ひとりの個別介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な期間で見直し、評価を行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者および家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、利用者個々の要望にこたえるように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の要望に対応できるかかりつけ医がいる。状況に応じて他の医療機関受診など、すぐに紹介状の手配等が出来るように連携がとられている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者や家族の意向を踏まえ、かかりつけ医等と話し合いを行い支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で気づいた事など、その都度ミーティング等で話し合いプライバシー確保について再認識してもらうように努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々の生活スタイルに合わせ、その人に合った生活が送れるように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方に味付けをお願いすることや可能な限り準備等を行っていただくように支援がなされている。また、近隣住民の方の急な食材の提供時はそれに合わせた食事作りが行われている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は利用者の希望に沿って入浴が提供されている。また、原則日曜日は入浴の提供はないのだが利用者の状況に合わせ臨機応変にその都度入浴対応をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの得意分野で、それぞれが持つ能力を発揮できるように生活の中でのり八ピリとして取り組んでいる。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者個々の希望、要望にあわせその都度対応がされている。また、日常的に事業所外に出る働きかけがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常的にミーティング等で身体拘束について再認識、再確認をしながら日常業務として取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が外出しそうな様子を察知したときは、止めるのではなく一緒に最後まで付き添い、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回消防署の協力を得ながら訓練を行っているが不十分である。		地域の消防団や近隣住民に非常時の協力を依頼しているが、実際に訓練等を実施し、有事の際の対応について検討、準備する事が必要である。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェックしている。食事内容は法人の栄養士の指導を元に献立作成がされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、職員が情報を共有している。また、法人より情報提供を受け最新情報の取得に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	縫製会社の建物を改築したために食堂等は居宅に近いとは言いが、利用者がくつろげるように飾りやレイアウトが工夫されている。また、利用者同士の間関係も考慮にいれ、一同に食事を取る形ではなく、利用者が居心地よく過ごせるように配慮されている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れた家具や思い出の強い仏壇等を持ちこむ事ができ、利用者が居心地よく過ごすことが出来るように配慮されている。		

 は、重点項目。